



# 芝山小だより



1月号  
清瀬市立芝山小学校  
校長 寺井 俊敬  
<http://www.kiyose.ed.jp/>

## 目標をもって過ごす

校長 寺井 俊敬

令和6年、2024年が始まりました。1月1日の能登半島地震では、多くの方が犠牲となりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々の1日も早い復興を願います。本校でも、ご親戚や知り合いの方で被害にあわれた方、ニュースを見て心を痛めている子供たちがいるかもしれません。学校ホームページ「学校からのお知らせ」内に、各相談機関の連絡先等を掲載しています。子供たちには、困ったことがあったら近くの大人に相談するようにしてほしいと思います。

辰年が始まりました。2024年は、十干十二支(じっかんじゅうにし)では、甲辰(きのえたつ)です。ある記事によると、甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった意味があるのだそうです。60年前に、甲辰がありました。60年前には、アジア初となる東京オリンピックの開催、世界初の高速鉄道「東海道新幹線」開業の年でした。60年後の2024年はどんな年になるでしょうか。新年明けてすぐの災害や出来事等がありましたが、1日も早く日常の生活が戻ることを願います。また、世界では今も戦争が行われていますが、戦争のない平和な世界になってほしいと思います。一方、フランス、パリではオリンピック・パラリンピックが予定されています。皆で支え合いながら、様々な未来志向の新しい技術が生まれ、次へと向かっていく年となることを願ってやみません。

学校も本日より、新学期を迎えました。昨年12月、アメリカメジャーリーグの大谷翔平選手が、ドジャースと契約を結んだことが大きく報道されました。ところで、大谷選手といえば、高校1年生の時に考えた『目標達成シート』というものが有名です。大きな目標を真ん中に、そのために何が必要かを細かく考えています。その中には『挨拶』や『ゴミ拾い』があります。今できていることよりも、意識しないとできないことを目標として書いています。大谷選手と同じ目標を立て、同じように実行していくということは並大抵の努力ではできません。しかし、少し頑張ればできそうな目標を立て、実行していくことはできるかもしれません。

『1年の計は元旦にあり』ということわざがあります。『何事もはじめには、まず計画を立てることが大事である』ということです。学校にとっては、本日がスタートです。開校70周年行事、運動会や展覧会、日常の学習に生活に頑張った子供たちです。1年のスタート、子供たちには、「これはできるようになるまで頑張る」「これは最後までやり切る」といった目標について、考えてほしいと思います。そのためにも、ぜひご家庭で、子供たちの興味・関心があること、頑張りたいことについて話し合ってもらいたいと思います。そして、応援してほしいと思います。

昨年は、芝山小学校開校70周年の節目の年でした。今年は71年、72年と新たな歴史を踏み出す始まりです。子供たちが、昨年よりも「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」、そんな1年にしたいと思います。

本日、始業式で子供たちに、『目標をもって過ごす』ことについて話をしました。そして、いじめは許さないこと、また、困ったときには、近くの大人の人に相談することを話しました。今年も、保護者の皆様、地域の皆様の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。(学校ホームページ「令和5年度校長室より」は、本日より再開いたしました。ぜひご覧ください。)